

競 技 上 の 注 意

審判長 下田 俊文

1 競技ルールについて

- (1) 本大会は、現行の日本卓球ルールを適用して行います。
ただし、タイムアウト制は団体戦・個人戦とも準々決勝から適用します。
- (2) 試合は1ゲーム11点、5ゲームマッチとします。ただし、団体戦予選リーグのシングルス、ダブルスと決勝トーナメントのダブルスは3ゲームマッチとします。
- (3) 団体戦は、今大会から若番がABC、遅番がXYZとし、要項に定められたオーダー順序によって競技を行うこととします。
- (4) 休憩はゲームとゲームの間の1分以内です。
- (5) タオルの使用は6ポイントごと、およびファイナルゲームにおけるエンドの交代時にのみ認められます。
- (6) 使用球は、JTТА公認球40mmホワイト球（日本卓球株式会社「プラ3スタープレミアム」）とします。
- (7) ラケットは、JTТАが公認したもので、均一の厚さのものを使用してください。
外国製ラケットを使用する場合は、競技開始前に審判長に届け出てください。
- (8) ラバーは、JTТАもしくはITTFの公認したものを使用してください。
- (9) 競技者は、令和8年度日本卓球協会指定のゼッケンを背中につけてください。
- (10) 監督・アドバイザーは、令和8年度日本卓球協会指定の役職者章をつけてください。
- (11) ラバーをラケットに貼る接着剤は、JTТАが公認した接着剤のみを使用してください。

2 団体戦について

- (1) 試合はすべて3点先取とします。
- (2) チームはJTТАが公認した同じユニフォームを着用してください。
- (3) アドバイスはゲームとゲームとの間の休憩時間にベンチにいる誰からでも受けることができます。
- (4) 抗議は、問題が生じた場合に参加していたチームの監督のみが行うことができます。
- (5) 競技の進行はタイムテーブルに沿って行います。円滑な競技進行のために開始時刻、コートの変更等があります。また、必要に応じて2台を使用する場合もあります。
- (6) オーダー交換は、所定の場所（会場図参照）で行ってください。ただし、試合中の場合は試合終了後5分以内にオーダーを交換してください。
- (7) 試合結果は、両チームの監督が確認・署名の後、敗者が進行席まで持ってきてください。
- (8) 審判は相互審判とします。ただし、決勝トーナメントから主管県が審判員を配置します。
- (9) ベンチは、若い番号のチームがステージに向かって左側とします。

(オーダー用紙ならびに対戦記録用紙の流れ)

ア. オーダー交換の場所は、メインアリーナ本部席横とする。

イ. 第1試合のオーダー交換は、8時10分から8時40分までに行う。第2試合以降は、対戦相手の試合終了後直ちに行います。（試合開始を、タイムテーブルより最大15分程度早める場合があります。）

オーダー用紙とは・・・選手名を記載する短冊型の5枚複写の用紙のことです。

対戦記録用紙とは・・・オーダー交換の後、運営本部がオーダーを記載した試合結果を記載する用紙のことです。

- (試合前) オーダー交換については、まず、オーダー交換所でオーダー用紙の5枚複写のうち下の2枚を双方で交換し、1～3枚目は対戦記録用紙に貼付けて使用する。
- (試合中) コート上に対戦記録用紙（オーダー用紙貼付済み）を配布するので、得点、ゲーム数を記入する。
- (終了後) 双方の監督が署名をした後、対戦記録用紙の2枚目と3枚目をそれぞれの監督に渡し、1枚目を敗者チームが進行席に提出する。

3 個人戦について

- (1) ベンチに入るアドバイザーは1名とします。
- (2) アドバイザーは複数台の移動は認めますが、すでにアドバイザーの入っているコートには移動できません。また、競技者は競技領域を離れてはいけません。
- (3) アドバイスはゲーム間の休憩時間にアドバイザーからのみ受けることができます。決められた時以外のアドバイスは禁止されています。
- (4) 抗議は問題が生じた場合に参加している競技者のみが行うことができます。
- (5) 競技の進行はタイムテーブルに沿って行います。円滑な競技進行のために開始時刻、コートの変更等がありますので、放送にご注意ください。
- (6) バンビについては、全試合審判員を配置します。カブ・ホープスについては、1回戦は指名審判、2回戦以降は敗者審判及び主管県が配置する審判員とします。ただし、準々決勝以降は、主管県が審判員を配置します。
- (7) 試合結果は両選手が確認・署名の後、**敗者が進行席**まで持ってきてください。
- (8) ベンチは、**若い番号の選手がステージに向かって左側**とします。

4 参加資格について

- (1) 選手・監督・コーチは令和8年度（公財）日本卓球協会に同じクラブで登録したものであること。
特に団体戦に出場する監督・コーチは「JSP0 公認指導者資格<スタートコーチ以上>」「日本卓球協会公認審判員資格以上」「日本卓球協会登録者」の3つの資格が必要になります。
変更される場合も必ず必要となりますので、指導者・アドバイザーライセンス確認用紙を持参され受付にご提示ください。
- (2) その他の参加資格要件については、大会実施要項に記載のとおりです。

5 その他

- (1) 表彰は第3位まで行います。3位決定戦は行いません。
- (2) ランキング証について、ホープス男女シングルス・カブ男女シングルスはベスト8まで、バンビ男女シングルスはベスト4まで交付します。大会終了後、各県卓球協会（連盟）に一括して送付します。
- (3) 会場使用について
 - ①貴重品は各県各人で管理してください。（盗難にご注意ください）
 - ②更衣室には貴重品・用具などを置かないでください。
- (4) 本大会は、試合終了時間を早めるため様々な取り組みを行っております。主旨を理解いただきオーダーの提出、試合結果の報告について、迅速な対応にご協力ください。